

大分大学「ホームカミングデー2019」を開催

大分大学は、11月4日（月・祝）に「ホームカミングデー2019」を開催し、県内外から集まった同窓生等104名が懐かしい恩師や旧友と交流を深めました。

「ホームカミングデー2019」は、今年も学生交流会館B-Forêt（ビ・フォーレ）で行われ、第一部の「交流会」では、北野正剛学長挨拶や秦政博同窓会連合会長挨拶に続き2016年から行われている「同窓生による講演会」では、同窓生を代表して、教育学部同窓会の豊友会会員である大分大学教育学部教授の大上和敏氏より「日本の温泉、大分の温泉」と題した講演があり、同窓生から「私も俄温泉博士になりました。」との声が上がっていました。

交流会の最後に、各学部長等から各学部・研究科等の現況説明が行われ、同窓生からは「各学部の様子や問題点がよく分かった。」「日頃聞けないことを聞く機会となった。」「他学部の現状を知る機会になった。」等の感想を聞くことができました。

第二部の「懇親会」では、昨年に引き続き、冒頭で在学生によるアトラクションとして「サウンドファミリー」や「医学部管弦楽団」による演奏が行われました。続いて豊友会の岩尾淳一氏から開会挨拶があり、相良浩四極会名誉会長による乾杯の音頭により開宴されました。

開宴後は立食形式で自由にご歓談いただき、途中で元理事の佐藤誠治名誉教授による挨拶が行われた後、豊友会・四極会・玉樹会の各同窓生からスピーチがあり各同窓生の現況等が紹介され、旧友、恩師、教員らと昔話に花を咲かせ、同窓生と在学生との交流も行われ、会場は大いに賑わいました。

最後に、玉樹会の高倉健会長による挨拶が行われ宴が締めくくられました。



(左から) 交流会で挨拶する北野学長、秦同窓会連合会会長



交流会で同窓生を代表して講演する 大上様



(左から) サウンドファミリーと医学部管弦楽団



懇親会風景1



代表挨拶をする佐藤名誉教授



懇親会風景2



在学生と懇談中の同窓生



懇親会で閉会挨拶をする高倉玉樹会会長